

■ サンプルデータベース **ノースウインド (NorthWind)**

- 食料品卸売り会社 (社員 19 人) のサンプルデータ
(食品製造メーカーから食料品を仕入れて、スーパーやコンビニなどに卸す会社)

【サンプルデータのコピー】

ネットワークの **Akakura** - **Public** - **jugyo** - **tandai** - **太田** - **情報処理 D** - **サンプル DB**

↓ 自分の場所へコピー

ネットワークの **Akakura** - **自分の ID** の中へドラッグする

1. データベースウィンドウ

- 「テーブル」 → データが表形式で保存されている
- 「クエリ」 → データの問い合わせや内容の更新を行う
- 「フォーム」 → テーブルデータを見やすい形で表現する
- 「レポート」 → データの印刷機能
- 「マクロ」 → 処理の自動化や連続実行を行う
- 「モジュール」 → 授業では利用しない (高度なプログラミング機能)

2. テーブルを見る (社員テーブルを開く)

【社員】を開く

データベースウィンドウを [テーブル] タブにして、「社員」を「開く」。

レコードや項目の移動     **Tab** キー マウスクリック
画面下のスクロールバー、移動ボタン  

行や列の選択 (1 行が黒く表示される)

列幅の変更

項目名「写真」の表示 (ビットマップイメージをダブルクリック)

閉じるときは「×」をクリック

【デザイン画面の切り替え】

[社員]-[デザイン] で画面を開く → 通常はテーブルを新規に作成する時に、必ず定義する

「フィールド名」 → 項目の名前

「データの型」 → 項目のデータ形式 (P.190)

「デザインビュー」と「データシートビュー」の切り替え

【レコードの追加】

最後の行をクリックして項目を入力してみる → 自分のデータ

(日付の入力は 1980/1/1 の形式で)

架空のデータを数件入力してみる (自分以外のデータはあとで削除する)

【レコードの削除】

削除したい行を選択 (黒く表示) して、[編集]-[レコードの削除]

【その他のテーブルも開いてみる】

「商品」、「都道府県」、「仕入先」 → ハイパーリンクの例

3 . フォームを見る

フォームとは・・・テーブルのデータを見やすい（入力しやすい）画面に作り直したもの。

【フォームを開く】

データベースウィンドウを[フォーム]タブに切り替える。

例として、[社員]を開いてみる。・・・ 個人の情報が1画面で表示される。

1つのテーブルをいろいろなフォームで見ることができる。

例 社員 と 社員（改ページ） の違い

【その他のフォームも開いてみる】

「仕入先」、「得意先」、「受注」、「スタートアップ」など

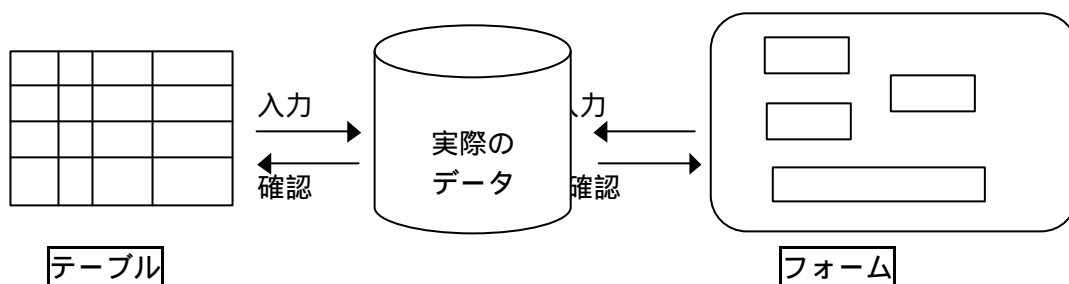
【デザイン画面の切り替え】

「フォームビュー」・・・フォームを開いたときの画面（データの中身を表示）

↑ ↓（切り替え）

「デザインビュー」・・・フォームのレイアウトをデザインする画面

テーブルとフォームの関係



・ テーブルから入力したデータ → フォームで見ても、正しく入っている。

さらに

・ フォームから入力したデータ → テーブルで見ても、正しく入っている。

つまり

・ 実際のデータは1つ（同じもの）であり、見え方が違うというだけ。